



市民の声を**正しく美しく**伝え実行！！

池上まさみ 通信

2期目も初心貫徹で！！

2019年7月発行 発行者 池上まさみ後援会
〒321-4323 真岡市東沼1564番地2
TEL・FAX 0285-82-6324
E-mail : yume@ikegami - masami.com

新しい会派を結成し、副代表になりました。

去る4月21日（日）に行われた真岡市議会議員選挙においては、皆様のご支援により、2期目を当選することができました。獲得票数1705票と、それぞれ私に対してのお一人おひとりの期待を無駄とすることなく、初心を忘れずに一生懸命に頑張っております。

これからも微力ではありますが、一般質問を含め回答結果にとらわれることなく継続的に様々な角度から提案・調査してまいります。また、今回、新たな会派として「もおか新代」を4名で結成しました。代表に前議長の中村和彦議員、女性の春山則子議員と七海朱美員、そして副代表にはわたくしが務めることとなりました。党派を超えて様々な意見を聞き、それに対して色々な面から議論してまいります。今後も、安全・安心で住みやすい街づくりのため皆様方のご意見・ご要望をお気軽にお寄せください。

ご当地ナンバーの提案が実施となりました。

平成29年2月定例議会の一般質問においてご当地ナンバーの製作についての質問した提案が、この度実施されることになりました。来年のいちごサミット開催は勿論のこと、いちごの生産量日本一を広くPRし、市民全員で盛り上げ、認知度を広げる一役となることを期待しております。

また、市民課で発行している住民票や印鑑証明などの申請書が個別申請であつたものが、1枚に統一されて少しでも、分かりやすくなりました。今後とも市民目線で提案してまいります。

そして、あきらめず継続的に提案を今後ともしてまいりたいと思います。



登壇させて頂きました。6/18

6月定例議会は、6月10日(月)から26日(水)に渡っておこなわれました。今議会の執行部からの議案は、真岡市家庭的保育事業等の整備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正や学校ネットワークセキュリティ機器の取得について、令和元年真岡市一般会計補正予算そして、人権擁護委員の候補者の推薦ならび真岡市固定資産評価委員の同意など10議案が可決されました。

質疑・一般質問は、17日・18日に各5名の議員が登壇し、私は、次の4件について質問をさせていただきました。



*再質問につきましては、紙面の関係上、省略させていただいております。

1件目 こども食堂について

子ども食堂とは？

経済的な理由で食事が十分にとれない子どもや家庭の事情から一人で食事をする孤食の子供たちや高齢者なども利用する地域の交流拠点で、平成31年4月現在全国で3,718か所が開設されている。



(1) 本市は子ども食堂の必要性をどのように考えているか。

- 安心して健康的な食事がとれ、子ども同士のコミュニケーションの居場所になっており、必要と考えているが運営面では、NPO法人や民間団体が主体であると考えている。

(2) 子ども食堂を開設するに場合、具体的にどのような問題点があるのか。

- 開設場所の確保や建物の改修費等の負担、食品衛生に関する基本的知識の習得があり更に、担い手や資金の継続的確保が問題である。

(3) 子ども食堂を開設するものに対して、どのような支援が可能なのか。

- 支援のあり方については、全国の先進事例を参考に研究していく。また、相談があった場合には、開設手順や衛生管理などの情報を提供し支援していく。

(4) 食品ロスを含め、子ども食堂に限らずフードバンクの設置を早急に取り組む予定がないのか。

- 食品廃棄の抑制と環境負担の軽減効果はあるものの、生活困窮者に対する福祉ボランティア活動の一つで、自発的な活動と想定しているため、市としては、設置は考えていない。

*現在、社会福祉協議会において、生活困窮者に対する支援として、善意銀行に積み立てたお金で食品を購入している現状であり、今後も継続的に見守り質問していきます。

2 件目 ごみ袋について

(1) 真岡市指定袋のこの3年間の収支実態について

- 販売収入は、下記の通りでほぼ横ばいの状態で推移している。
ごみ袋の製造委託費、販売手数料、収納システム使用料に係る経費の他、ごみ収集費やごみ減量化推進費用などに充当している。

年度	販売枚数	販売収入
H28	331万3,200枚	1億2,882万円
H29	334万2,400枚	1億2,982万円
H30	343万3,200枚	1億3,270万円



(2) 10月に消費税の増税が計画されているが、今後の見込みは

- 現段階での販売単価の値上げは考えておりません。

(3) レジ袋を減らす工夫として、エコバッグ利用以外の方策はないのか。

- レジ袋を削減するために、事業者、消費者団体、市、県の4者により協定を締結し、レジ袋無料配布の中止を推進し、2019年5月現在県内24事業者64店舗、市内では3事業者5店舗と締結してレジ袋の削減に努めている。現時点では、エコバックが特に有効と考えている。今後の周囲の動向を見守って研究していく。

3 件目 学校給食について

(1) 学校給食の重要性について

- 学校給食は、児童・生徒の心身の健全な発達に資するものであり、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うなど重要な役割を果たしていると考えている。

(2) 給食配給後に報告された異物混入は内容を含めどれくらいあるのか。

- H27年度が86件、H28年度が68件、H29年度が38件、H30年度は40件であり、異物の内容は髪の毛やビニール片等が多く調理中や納品した加工品の中に紛れこんだと考えられる。

(3) 第1学校給食センターの建て替えは、いつ頃、そして、規模及び建設地はどのように考えているのか。

- 建設後40年が過ぎているため、来年度から約5年間を想定している。規模については児童・生徒の減少を見込んで、現在の6,200食から5,700食供給の規模を考えている。建設地については、H28年度の整備基本計画の修正業務の中で、検討していく。

(まだ、候補地を含め具体的な土地は決まっていない)



第1学校給食センター

(4) 学校給食費の未納件数と金額はどれくらいあるのか。

- H29・30年度の実態は、小学校合計で37件 79万9,070円であり、中学校合計では27件71万700円で合計では、64件で150万9,770円である。

(5) 給食費未納者の回収は誰が、いつ、どのようにしているのか。

- 給食費未納の回収は、担任による電話による催促や保護者に来校していただき面談や納入指導を行い、必要に応じて夜間に学年主任や担任による家庭訪問を実施し更に、学校給食センター職員による夜間訪問などを行っている。

4件目 いちごバスについて

(1) いちごバスの利用者や市民の意見集約は、どのようにして、活かしていくのか。

- いちごバス利用者の聞き取り調査や市内全域の無作為抽出によるアンケートを実施して、公共交通に関する検証を行い、令和3年からの地域公共交通網形成計画により周知していく。



(2) 試験的な試みとして、一時的に農村部を走行する考えはないのか。

- 真岡市地域公共交通網形成計画の時期計画を策定する中で運行するかどうか調査・検討していく。(現在のところでは停留所の見直しを含め、手続き上にも課題があり早急にはない。)

身近な議員と語ろうに参加させていただきました。



6月28日(金)真岡井頭温泉チャットパレスにおいて、連合栃木芳賀地方協議会主催による、「身近な議員と語ろう」が開催されました。当日は、約40名の方から県や市・町への問題点や要望が出され、とても多くの関心事があることがわかりました。中でも、道路や信号機そして、街路灯や防犯灯などの生活的課題と廃校利用やSLなどまちの活性化についても話し合いました。

Q【質問？教えて！！】

*真岡市の税金は他の市町村に比べて高くないのか。

- ・市民税は
- ・固定資産税は
- ・都市計画税は
- ・国民健康保険税は

県内同じ税率であるのか？

A【お答えいたします！】

- 市町村税の中の市民税は個人と法人で区分され、個人では、均等割と所得割に別れ市民税均等割りは、3,500円一律であり、所得割も前年の所得金額の6%と栃木県内同律です。
- 固定資産税は、固定資産の価格×1.4%で課税され、原則3年間で評価見直しがおこなわれる。
- 都市計画税は土地・家屋の価格×税率であり、市町村で変わる。(0.3%~0.15%)足利市、佐野市、小山市、矢板市、鹿沼市は本市と同じ、0.3%である。
- 国民健康保険税については、次回にお答えします。